



# おはようございます

日本共産党  
市議会議員

# いぬいえりです

2024年12月19日 NO.37



## 12月議会一般質問 子育て世帯の生活支援について

前号でお知らせした学校給食以外にも、子育て世帯へのさまざまな支援策についてききました。



### 就学援助制度の拡充について

就学援助は、経済的に厳しい家庭に、小中学校の経費を援助する市の制度です。対象世帯の拡充、卒業アルバムへの補助(文科省のリストにある)を求めました。

答弁は、今年4月に所得で生活保護基準の1.1倍から1.2倍へ拡充しているのでやらない(人数は増えていない)、卒業アルバム補助は考えていない(経費は236万円)とのことでした。

冷たいぞ!

### 児童扶養手当の拡充について

児童扶養手当は、ひとり親家庭に子どもが18歳まで援助する国の制度です。所得制限がきびしく、日本共産党は国会などで改善を求めていましたが、この11月に改善がありました。(子ども一人の例、収入ベース) 全部支給上限160万円→190万円

一部支給上限365万円→385万円  
第3子以降の加算額が第2子と同額に  
高等教育への進学・就学にかかわる  
負担軽減について

大学などの学費は高すぎる上に値上げが相次ぎ、問題になっています。国に対策を求めるよう質問しましたが、「すでにやっている」との答弁。しかし「扶養する子が3人以上(子どもが独立して扶養が2人以下にならなくなる)」「理系(文系との差額)」など、条件がきわめて限られています。

自治体独自の施策も予定なしとのこと。

フリースクール通学者への  
経済的支援について

不登校が今年も最多を更新。学びと居場所を保障する場のひとつとなっているフリースクールですが、経済的負担がたいへんです。支援が市議会全体の要望にもなっているのに、市は検討していないとの答弁ですが、千葉県が具体的な検討を行っているとのことでした。



子どもの貧困支援にとりくむNPO キッズドアのアンケート(2024年5・6月)より

- ◆対象家庭のほとんどが家計の悪化を実感。「風邪にかかりやすい、体重が増えない、身長が伸びないといった子どもの成長や健康の問題が顕在化」
- ◆「ひとり親、かつ多子世帯ではあるが、収入が少しはみ出ているために児童扶養手当や国、行政の支援や地域の貧困家庭向けの支援がすべて受けられず借り入れ負債も多額で困窮している。」
- ◆「子どもが大学に行った家庭への支援をしてほしい。児童扶養手当もなくなり、子どもの大学が遠方のため1人暮らしで、奨学金を借りてますが足りないため仕送り5万。残された家族は食事もおかずなし。」

発行 いぬいえり事務所 TEL/FAX 04-7157-6140 荒巻 090-7840-6319  
メール: [giindan@nagareyama-jcp.jp](mailto:giindan@nagareyama-jcp.jp) 公式LINE(ご意見はこちらへどうぞ) →

